

ワールド・ミュージックの館 ～峰 万里恵と仲間  
たち

第4回

# 太陽と闇 ～メキシコのうた～



峰 万里恵 (うた)

喜多 直毅(ヴァイオリン)

齋藤 徹(コントラバス)

三村 秀次郎(ギター)

高場 将美(ギター、話し)



2012年12  
月1日

cafe & space  
ポレポレ坐



## 第1部

### 1. ラ・ブルーハ (魔女) *La Bruja*

ベラクルース州 伝承曲

メキシコの大西洋（カリブ海）に面した港ベラクルース周辺の、ソン（民俗的な歌入り舞曲の総称）です。この地方は熱帯で、サボテンではなくヤシの林がある風景が典型的です。この州のカテマーコ町は、メキシコの魔術のメッカで、黒魔術、白魔術、呪術、薬草療法など入り乱れて、プロの（！）魔法使いがたくさん住んでいます。

アイ！ 朝の2時に 飛ぶのは なんてすてき！ アイ ママ！ 降りて行く先はあなたのお姉さんの両腕の中。

わたしを魔女がつかまえる。彼女の家へ連れてゆく。わたしを植木鉢に変える。そしてズッキーニに。

わたしを魔女がつかまえる。わたしを魔術師の本部へ連れてゆく。わたしの両足の上にすわって、わたしを食事に誘う。

アイ 教えて、そしたらわたしはみんなに教えましょう。何人の赤ん坊を あなは吸い取ったんですか。

「ひとりも、ひとりも吸い取りませんよ。わたしには わかりません。わたしがやりたいと思っているのは、あなたを吸い取ってしまうこと」

### 2. 置き去られたやもめのコリード

#### *La viuda abandonada*

作詞作曲：アマーリア・メンドーサ *Amalia Mendoza*

コリードは、メキシコの歌の重要なジャンルで、物語り性のある民衆詩をうたい語ってゆくものです。本流は、歴史的な出来事や各地の有名な事件を語り伝えたり（これらは作者不明の歌詞が多いです）、郷土のすばらしさを美辞麗句でたたえたりするものですが、嘘だか実話だか怪しいものもあります。この曲は、最高の人気者のひとりだった女性歌手アマーリア・メンドーサさん（ミチョアカーン州出身）がつくりました。

わたしは結婚したばかり。だれもわたしを楽しむことはできません。わたしの夫はわたしを置いて行った、自由の意味をはきちがえて。

「もし あなた、もしかして わたしの夫を見ませんでしたか？」

「奥さん、わたしはなにも見てません。特徴を教えてください、なにか言えます」

「わたしの夫は背が高く金髪。そんなに悪い男ぶりではありません。右の手首に消えかかった文句がある」

「あなたの言う特徴だと、あなたの夫は死んでます。バレンシアの町で、とある日本人に殺されました」

3年間わたしは彼を待ちました。あとまた3年待ちましょう。もし6年たって来なかったら、そのときわたしは結婚しましょう。

わたしはわたしの黒いスカートをはきました。黒い大きなヴェールもかぶりしました。

そして鏡で自分を見ました。アイ なんて素敵なやもめになれたこと！

もうこれでわたしはお別れの挨拶をして、谷間を通って行きましょう。ここで終わりです、置き去られたやもめのコリード。

### 3. 黒い鳩 *Paloma negra*

作詞作曲：トマス・メンデス *Tomás Méndez*

メキシコの農牧地帯（ほとんど全土です）の風景や人間感情をバックにした、大衆的な歌謡曲のジャンルが、カンシオン・ランチェーラ（農場の歌）略して《ランチェーラ》です。歌の重要なジャンルで、物語り性のある民衆詩をうたい語ってゆくものです。トマス・メンデスは、サカテーカス州の鉱山の町の出身で、1950年代から大ヒットを出している、ランチェーラの人気作者です。

もうわたしは泣くのに疲れた。そして夜は明けない……。もうあなたを呪ったらいいのかわからないのか、あなたのために祈るのかわからない。わたしはあなたを探しに行き、見つけるのがこわい。

時にはわたしは 自分をこわしてしまいたくなる、もうここで わたしの牢屋の釘を抜くために。でもわたしの両目は あなたの両目を見ないと死んでしまう。そしてわたしの愛情は 暁とともに ふたたびあなたを待っている。

もうあなたは自分から パランダ（酒宴）の道に走ってしまった。黒い鳩、黒い鳩、どこにいる？ もうわたしの名誉をおもちゃにしないで。だってあなたの愛情は わたしのもでなければならない。ほかのだれのものでもなく。

そしてわたしは あなたを愛して狂っているけれど、もう もう帰ってこないで。黒い鳩 あなたは牢屋の鉄格子。わたしは自由になりたい わたしの人生を生きたい。わたしを愛してくれる人と。

神よ わたしに力をください！ わたしは死んでゆく、その人を探そうとして。

もうあなたは自分から パランダの道に走ってしまった！

#### 4. ラ・ジョローナ (泣き女) **La Llorona**

オアハーカ州 伝承曲

血まみれの白衣で、夜、恐ろしい声で泣いている「泣き女」の伝説は、アメリカ合衆国南部から南アメリカ大陸の先まで広がっていますが、起源はメキシコで、約500年前に生まれたようです（今日でも各地に出没します）。

わたしにはわからない 墓地の花たちには何があるのか、ジョローナ。風が彼女たちを動かすときに、泣いているように見える。

アイ！ あわれなわたし！ ジョローナ、あなたはわたしのシュンカ（オアハーカ州先住民サポテカ語。末っ子の娘、小さな娘、愛する女性）。わたしからあなたを愛することを取り上げられるかもしれない。でも あなたを忘れることは、決して。

空のキリストという聖者に、ジョローナ、わたしは数々の悩みを話した。わたしの悩みは なんと大きい！ 聖者キリストは泣いた。

アイ！ あわれなわたし！ ユリの野のジョローナ。恋のことを知らない者は、受難がどんなものか知らない。

わたしは 魂にふたつのキスをもって生きている、ジョローナ。ふたつは わたしから離れない。わたしの母の最後のキス、そしてわたしがあなたに上げた最初のキス。

アイ！ あわれなわたし！ ジョローナ、わたしを川へ連れて行って、おまえのレポーソ（民俗的なショール）で覆っておくれ。わたしは寒さに死んでゆくのだから。

#### 5. 黒い夜 **La negra noche**

作詞作曲：ラウロ&エミーリオ・D・ウランガ兄弟

**Lauro & Emilio Donato Uranga**

エミーリオ・ウランガ（彼のほうが作曲したのでしょうか）は、ヴァイオリン奏者で、オーケストラ指揮もしたようです。おもに映画のためのポピュラー・ソングをつくったことで知られます。この曲は1925年のものです。

黒い夜が そのマントをひろげた。霧が出てきた、光は死んだ。そしてわたしの悲しい魂の霧の中に、星のようにあなたが芽を出した。

おいで、かわいい道を照らしてください、狂った夢のさまよっている道を。ただわたしに ひとつの希望を下さい、わたしの心を強くするように。

夜ごとに露が生まれるように、庭に花が生まれるように、わたしの魂に——いとしいむすめよ——わたしの愛は生まれた。

もうわたしには見える、窓の向こうに、そのひとの 魅惑の天使のような顔が のぞいているのが。わたしは胸の中に感じる、わたしの魂のなかには もう霧はないことを。……もう太陽が出た。

#### 6. ながいクリスマス **Amarga Navidad**

作詞作曲：ホセ・アルフレード・ヒメーネス **José Alfredo Jiménez**

作者は、1950年代初めから登場（その後、自作をうたう歌手としてスターになる）。ランチェーラに、豊かな人間性と、より生々しい感情を盛りこんで、ポピュラー音楽に新しい次元を与えた、偉大なアーティストです。たいへん多作でしたが、この曲は1954年の大ヒット。

きっぱりと終わらせなさい、ただの一撃で。どうしてあなたはわたしを 少しずつ殺そうとするんですか？ あなたがわたしを見捨てる日が やってくるのなら、心のひと——わたしは それが今夜のほうがいい。

あなたが去っていくのが、12月というのは気に入りました。あなたの冷酷なさようならが わたしのクリスマスになるように。わたしは新年を始めたくない、この同じ愛とともに、わたしをこんなに苦しめる愛とともに。

そしてもう たくさんのことが過ぎた後に、あなたが後悔して とても不安になっているとき、あなたは知るでしょう——あなたが置いてきたあのものが、あなたがいちばん愛していたものだったと、でももう どうしようもないのだと

#### 7. 波の上に〔波濤を越えて〕 **Sobre las olas**

作曲：フベンティノー・ローサス **Juventino Rosas**

19世紀末には、メキシコでもウィнна・ワルツの作曲がさかんになり（舞踊としてはそのずっと以前から大人気でした）、ロマンティックでセンチメンタルな美しい曲がたくさんつくられ、今日も親しまれています。なかでもこの曲は、国境を越えた世界的人気曲になり、ウィーン製と思っている人が非常に多くいるほどです。

作者フベンティノーは、グワナフワート州の小さな町に、先住民オトミー人の貧しい家庭に生まれ、母とともに首都に出て、おもにヴァイオリン奏者として食べていました。やがて、オペレッタの管弦楽団などでも弾くようになり、作曲家としての名声も上がりました。オーケストラの花形メンバーとしてキューバに演奏旅行中、子どものころからの胸部疾患で亡くなってしまいました。1894年、まだ26才の若さでした。この曲は、17才のころの作品です。

### 第2部

## 1. 東の国のむすめのコリード

### **Corrido de la muchacha oriental**

作詞作曲：高場 将美／峰 万里恵 Masami Takaba/Marie Mine

わたしは ある忘れられた物語をお話ししましょう。東の土地の ひとりの少女の物語。わかりませんね、勝手に発明されたこともあるかも……でも奥底では まったくの真実です。

人々が「昇る太陽の国」と呼んでいるところに、ひとりの女の子が生まれました、ひとりぼっちで、暗闇の中で。ある金髪をめす猫が彼女が泣いているのを見つけました。そして黒猫がファルセットで言いました：——ミアウ！

猫たちは彼女に言いました——歌え、泣かないで。だって泣いていたら太陽は見つからないでしょう。わたしたち3人いっしょに世界を見に行きましょう、やさしさと光と温かさを求めて。

3！ 1-2-3！ しっぽのリズムに乗って、進んで行きながらひとりの歌い手にめぐり合いました。彼がうたうとき 鳩たちが出てきました。真っ白で、彼の声から、飛びまわりながら。

そして鳩たちの飛ぶのを追いかけて行く3人に、空が レボソのように おおいかぶさりました。だって、それは青よりも青い空でした、ドン・ホセ・アルフレード、お妃も玉座もない王様がうたった空。

ついに少女は喜びで泣きました、永遠の歌の空の下で。ここでコリードは終わり、いま始めます、彼女の新しい歌を、東の少女が。

ここでコリードは終わり、わたしはお別れします。  
わたしの仲間たちがご挨拶をおくります——ミアウ！

## 2. ファロリート (いとしい街灯) **Farolito**

作詞作曲：アグスティーン・ララ Agustín Lara

ララはベラクルース州の人といえますが、生まれたのは首都です。『グラナダ』や『ソラメンテ・ウナ・ベス』の世界的名声から、メキシコのポピュラー音楽最大の作曲家と呼んでいいでしょう。この曲は超有名とはいえませんが、長いあいだ広く親しまれ、愛されつづけてきた、小さなワルツです。

いとしい街灯——おまえがようやく照らすことができるのは 人気のない わたしの通り。どれほどたくさん夜の夜、おまえは 泣いているわたしを見たことか、あのひとの戸口で呼びながら。

わたしが持ってきたものは ただ歌ひとつだけ、わたしの心のひとかけら。  
わたしが持ってきたものは ただひとつのキスだけ——

寒がりです いたずらもので ながくて 甘いキス。

## 3. はじめての愛情 **La primera caricia**

作詞作曲：アマーリア・メンドーサ Amalia Mendoza

ふたたび、女性歌手アマーリアさんのランチェーラ。プロの作詞作曲家ではつくれない、自由な語り口が、さすがです。

あなたは わたしのくちびるを盗んだ最初の人だった、はじめての恋する愛情を。そして わたしの両目から 最初のまなざしを、そして わたしの胸から おとめのため息を。

わたしは知っている ほかの女に あなたは愛を渡したことを、そしてそのひとを愛していることを、いちばん純粋な愛をもって。

それなら、そのひとを愛しなさい、あなたの命の中に、あなたの名前の中に。もうわたしたちふたりのあいだには、なにも残っていないのだから。

そちらに向けて あなたに送り返します、もう枯れた 白い花の花輪を。そしてあなたがくれたハンカチを、写真を。

でも ある時期 あなたがわたしに書いた数々の手紙は、決して、命の人よ、あなたの手には戻らないでしょう。

## 4. バーモノス (さあ行こう!) **Vámonos**

作詞作曲：ホセ・アルフレード・ヒメーネス José Alfredo Jiménez

この曲は作者も含めてかなり多くの歌手が競演しました。ここでは、アマーリア・メンドーサさんがうたった、女性歌手のためのヴァージョンです(どの歌詞もホセ・アルフレードが書きました)。

わたしたちは平等ではないと ひとびとは言う。あなたの人生とわたしの人生は道に迷ってしまうだろうと。あなたは ならず者で、わたしはまともな人間だと。ふたつのちがった人格は 愛し合うことはできないと。

でももう わたしはあなたを愛した。そしてあなたを忘れない。そしてあなたの両腕の中で死ぬことが わたしの夢。わたしには社会階級なんてことはわからない。ただ知っているのは、あなたが わたしを愛しているということ、あなたを わたしが愛しているように。

わたしたちが平等でなくても、わたしたちは どうでもいい！ わたしたちの愛の物語は つづかなければいけない。そして だれかが わたしに言ったように、人生はとて短い。今度は いつまでも あなたゆえに わたしはやってきた。

でも知っていてほしい。わたしはあなたに義務づけはしない。もしあなたがわたしといっしょに来るのなら、それは愛のゆえ。そう あなたの力のすべてをもって。あなたがわたしを愛していることが人にわかるように——あなたを わたしが愛するように。

さあ行こう！ だれも わたしたちを裁かないところ、だれも わたしたちに 悪いことをしていると言わないところへ。 さあ行こう！ この世間を離れて、裁判所もなければ 法律もなにもないところ、わたしたちの愛だけがあるところへ。

## 5. ラ・アデリータ *La Adelita* 伝承

曲

メキシコの革命(内乱)時代は、ほんとに各地で戦闘が繰り広げられていたとは信じられないくらい、多くの民謡や物語り歌が生まれています。この曲もそのひとつで、アデリータという女性に歌いかける民謡に、そのメロディを使った物語り歌(この部分は、わたしたちは演奏だけでやります)が付いて、もう百年以上も愛唱されてきました。

アデリータという女性は実在したのかどうかわからないのですが、もし実在したのなら、右写真がその人です。当時14~15才、従軍看護婦として大活躍したそうです。



もしアデリータが ほかの男と行ったら、わたしは 彼女を 陸でも海でも 追って行くだろう。もし海だったら 軍艦で、もし陸だったら 軍用列車で。

もしアデリータがわたしの花嫁になりたかったら、もしアデリータがわたしの妻だったら、彼女に絹のドレスを買ってあげよう。本部のダンスパーティに連れて行くために。

そしてもし わたしが戦地で死んだら、わたしの死体が埋葬される時は、おおアデリータ、神かけてあなたにお願いする、あなたの両目でわたしを泣いてくださいと。

## 6. シエリート・リンド *Cielito lindo*

伝承曲

題名は「きれいな、すてきな空」——この「空」というのは天国のことで、女性を「あなたはわたしの天国です」と讃える歌詞は、古くからスペイン語全域にありました。この有名なメキシコの曲には、いろいろな歌詞が付いていますが、定番の歌詞には《シエラ・モレーナ》が出てきます。これは、スペインのアン

ダルシーア地方、あの『カルメン』で密輸業者とか山賊が巢食っていたところ です。この歌詞も、スペイン伝来のものなのでしょう。完全にメキシコのもの になっていますが。

シエラ・モレーナから降りてやってくる 一對の黒いかわいい目——美しいシエリート——密輸されてくる両目。

あなたが持っているそのホクロ、口のそばに。だれにも上げてはいけない——美しいシエリート——わたしがもらうことになっている。

アイ アイ アイ アイ  
うたいなさい 泣いてはいけない  
なぜなら うたえば 楽しむのだから  
——美しいシエリート—— ひとびとの心が。

*Ay, ay ay ay,  
canta y no llores,  
porque cantando se alegran,  
cielito lindo,  
los corazones.*

## 7. 黄金の小舟 *La barca de oro*

伝承曲再編：アブンディオ・マルティーネス *Abundio Martínez*

今日のレパートリーでいちばん古い曲ではないかと思えます。歌い継がれてきた民謡をアブンディオ・マルティーネスさんが整理して、美しく形を整えたものです。アブンディオさんは、イダルゴ州の、先住民オトミー人で、一生を貧しく、クラシック音楽を愛することだけで生きていたすばらしい人です。1914年に、39歳で没。

わたしはもう行ってしまふ、港へ。そこにあるのは 黄金の小舟。わたしを連れて行ってくれるはず。

わたしはもう行ってしまふ、ただ お別れを言いに来た。さようなら 女よ、さようなら いつまでもさようなら。

もうふたたび わたしの目は あなたを見ることはないだろう。そしてあなたの耳も わたしの歌声を聴かないだろう。

わたしは増やそう、海の水かさを わたしの涙で。さようなら 女よ、さようなら、い

つまでもさようなら。

企画・製作: 峰 万里恵と仲間たちノポレポレ坐

選曲・構成: 峰 万里恵

プログラム製作: 高場 将美